

学校コード F114310104883
注3

設置年度 令和 3年度
計画の区分： 学部の設置
注1

認可

注2
湘南医療大学 薬学部 医療薬学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人湘南ふれあい学園
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	事務部
職名・氏名	ジムフチョウダイコウ コバヤカツイチロウ 事務部長代行 小林勝一郎
電話番号	045-821-0111
(夜間)	070-5554-5864
e-mail	pharm@sums.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

薬学部

<医療薬学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	50

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人湘南ふれあい学園

(2) 大学名

湘南医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-10
(本部 : 〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオヤシキ フジエ 大屋敷 芙志枝 (平成6年4月)		
学長	オオヤシキ フジエ 大屋敷 芙志枝 (平成27年4月)		
学部長	スズキ ツトム 鈴木 勉 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学部 医療薬学科 学士(薬学)	薬学関係	6 年	130 人	2年次 0 人 3年次 人 4年次 人	780 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	130 () []	130 () []	130 () []	130 () []	130 () []	130 () []	0.46倍	-	0.43倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	111 () []	192 (3) []	() []	243 (3) []	() []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	91 () []	149 (3) []	() []	230 (3) []	() []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	58 () []	134 (3) []	() []	196 (3) []	() []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	34 () []	66 (3) []	() []	78 (1) []	() []	() []					
入学定員超過率 B/A							0.26	0.50		0.60							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	34 ()	[-] ()	68 (2)	[] ()	[-] (4)	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] ()	[] ()	[-] (4)	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] ()	27 ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	34 ()	[] ()	101 (2)	[] ()	[-] (8)	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	34 人	2 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	2 人	0 人	海外留学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1名)
令和4年度	101 人	9 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	0 人	修学意欲の低下(1人)
			令和4年度	8 人	0 人	除籍(1人)、経済的困窮(3人)、進路変更(3人)、心身耗弱(1人)
令和5年度	171 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		11 人		11 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{34} = \boxed{5.88} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{101} = \boxed{8.91} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{171} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学部 医療薬学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	総合英語ⅠA	1前	1				1					兼2
	総合英語ⅠB	1後	1				1					兼2
	総合英語ⅡA	2前	1				1					兼2
	総合英語ⅡB	2後	1				1					兼2
	総合英語Ⅲ	5前・後 ・6前	1				1					兼1
	英会話A	3前	1				1					兼1
	英会話B	3後	1				1					兼1
	英語Ⅰ(基礎英語)	1前		1								兼1
	英語Ⅱ(医療英語)	2前		1								兼1
	英語Ⅲ(コミュニケーション)	2後		1								兼1
	中国語	1前		1								兼1
	韓国語	1後		1								兼1
	コミュニケーション論	1前		1								兼1
	チーム医療論	6後		1			17	9	8	8	0	兼62
	文学	1・2・3後		1								兼1
	教育学	1・2・3後		1								兼1
	文化人類学	1・2・3前		1								兼1
	国際関係論	1・2・3前		1								兼1
	国際保健医療論	1・2・3後		1								兼1
	音楽論	1・2・3後		1								兼1
	栄養学	1前		2								兼1
	薬と毒性学入門	1後		1			1					兼1
	障害者スポーツ	1前・後		1								兼1
	レクリエーションスポーツ	1前・後		1								兼1
	症候論	1後		2			2					兼5
	社会福祉論	2後		1								兼1
	情報リテラシー	1前		1								兼1
	研究法入門	1後		2								兼1
	環境論	1前		1								兼1
	法学(含日本国憲法)	1前		2								兼1
	放射線概論	1後		1								兼1
	保健行政論	2前		1								兼1
公衆衛生学	2前		1			1			1		兼1	
倫理学	1前		1								兼1	
心理学	1前		2								兼1	
哲学	1後		1								兼1	
社会学	1後		2								兼1	
発達心理学	1後		1								兼1	
ボランティア学	1後		1								兼1	
生命倫理学	1後		1								兼1	
ジェンダー論	1後		1								兼1	
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0	兼85	
基礎科目	科学計算演習	1前	1			1		1				兼1
	科学英語	4前	1				1					兼1
小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0	兼1	
専門科目	薬学入門Ⅰ(薬剤師の使命)	1前	1			1						兼1
	薬学入門Ⅱ(薬と病気の科学)	1前	1			3	1					兼1
	早期臨床体験実習	1前	1			8	2	4	1			兼1
	生命・医療倫理学	1前	2									兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前	1									兼1
	薬剤経済学	4後	1			1						兼1
	後期臨床体験実習	5通	1			7	2	5				兼1
	日本薬局方	4後	1			1	2					兼1
	小計(9科目)	-		10	0	0	9	3	5	1		兼3

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	総合英語ⅠA	1前	1				1					兼2
	総合英語ⅠB	1後	1				1					兼2
	総合英語ⅡA	2前	1				1					兼2
	総合英語ⅡB	2後	1				1					兼2
	総合英語Ⅲ	5前・後 ・6前	1				1					兼1
	英会話A	3前	1				1					兼1
	英会話B	3後	1				1					兼1
	英語Ⅰ(基礎英語)	1前		1						1		兼1
	英語Ⅱ(医療英語)	2前		1								兼1
	英語Ⅲ(コミュニケーション)	2後		1								兼1
	中国語	1前		1								兼1
	韓国語	1後		1								兼1
	コミュニケーション論	1前		1								兼1
	チーム医療論	6後		1			17	9	8	8	0	兼62
	文学	1・2・3前		1								兼1
	教育学	1・2・3後		1								兼1
	文化人類学	1・2・3前		1								兼1
	国際関係論	1・2・3前		1								兼1
	国際保健医療論	1・2・3後		1								兼1
	音楽論	1・2・3後		1								兼1
	栄養学	1前		2								兼1
	薬と毒性学入門	1後		1			1					兼1
	障害者スポーツ	1前・後		1								兼1
	レクリエーションスポーツ	1前・後		1								兼1
	症候論	1後		2			2					兼4
	社会福祉論	2後		1								兼1
	情報リテラシー	1前		1								兼1
	研究法入門	1後		2								兼1
	環境論	1前		1								兼1
	法学(含日本国憲法)	1前		2								兼1
	放射線概論	1後		1								兼1
	保健行政論	2前		1								兼2
公衆衛生学	2前		1			1			1		兼1	
倫理学	1前		1								兼1	
心理学	1前		2								兼1	
哲学	1後		1								兼1	
社会学	1後		2								兼1	
発達心理学	1後		1								兼1	
ボランティア学	1後		1								兼1	
生命倫理学	1後		1								兼1	
ジェンダー論	1後		1								兼1	
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0	兼85	
基礎科目	科学計算演習	1前	1			1		1				兼1
	科学英語	4前	1				1					兼1
小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0	兼1	
専門科目	薬学入門Ⅰ(薬剤師の使命)	1前	1			1						兼1
	薬学入門Ⅱ(薬と病気の科学)	1前	1			3	1					兼1
	早期臨床体験実習	1前	1			8	2	4	1			兼1
	生命・医療倫理学	1前	2									兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前	1									兼1
	薬剤経済学	4後	1			1						兼1
	後期臨床体験実習	5通	1			7	2	5				兼1
	日本薬局方	4後	1			1	2					兼1
	小計(9科目)	-		10	0	0	11	5	7	3		兼5

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	化学系基礎科学	1前	2					1				
	化学系実習	1後	1			2		2				
	物理系基礎科学	1前	2			1						
	物理化学 I	1後	2			1						
	分析化学 I	1後	2			1						
	生物系基礎科学	1前	2				1		1			
	生物系実習	1後	1				1	1	1			
	生化学 I	1後	2				1		1			
	解剖学	1後	2				1					
	物理化学 II	2前	2				1					
	分析化学 II	2前	2				1		1			
	分析化学実習	2前	1				1		1			
	有機化学 I	2前	2				1					
	生化学 II	2前	2					1	1			
	生化学実習	2前	1					1	1	1		
	生理学	2前	2				1	1				
	微生物学 I	2前	2				2					
	物理化学 III	2後	2				1					
	物理化学実習	2後	1				1		1	1		
	有機化学 II	2後	2				1					
	有機化学実習	2後	1				2		2			
	天然薬物学	2後	2					1				
	生化学 III	2後	2					1		1		
	生理解剖学実習	2後	1				1	1			兼1	
	微生物学 II	2後	2				2	1				
	免疫学 I	2後	2				2	1				
	分析化学 III	3前	1				1		1			
	分析化学 IV	3前	1				1					
	有機化学 III	3前	2				1					
	天然薬物学実習	3前	1					1		1		
	微生物学実習	3前	1				2	1	1	1		
	免疫学 II	3前	1				1	1				
	生化学 IV	3後	1					1	1			
アドバンスド生物化学	3・6前		1			1						
化粧品科学	4・6前		1							兼1		
腫瘍生物学	4・6後		1			1	1					
感染制御学	6前		1			1	1					
小計(37科目)	-		53	4	0	8	5	4	3	1	兼2	
放射化学	2後	2				1						
機能食品学	2・6後		1								兼1	
衛生化学 I	3前	2				1		1				
医療統計学	3前	1				1						
衛生化学 II	3後	2				1		1				
衛生化学実習	3後	1				1		1				
衛生化学 III	4前	2				1						
小計(7科目)	-		10	1	0	1	1	0	1	0	兼1	
薬理学 I	2後	2				1		1				
薬理学 II	3前	2				1	1	1				
薬物治療学 I	3前	2				1		1				
薬理学実習	3前	1				1		1	1			
薬物動態学 I	3前	2					1					
薬剤学 I	3前	2					2					
薬物治療学 II	3後	2				2						
薬物動態学 II	3後	2					2					
薬剤学 II	3後	2					2					
病理学概論	4前	2				2					兼7	
症候・診断学	4前	2				1					兼4	
処方解析演習	4前	1				9	5	3	4			
薬物治療学 III	4前	2				1		1				
医薬品開発学	4前	2				1						
医療安全管理	4前	1				1						
創薬化学	4・6前		1			1		1				
医薬品情報学	4後	2				1						
薬物治療学 IV	4後	2				3						
薬物治療学 V	4後	2				4		2	1			
漢方治療学	6前	2									兼1	
レギュラトリーサイエンス	6前	2				1						
薬物治療学 VI	6後	2				3						
小計(22科目)	-		39	1	0	11	6	5	4	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	化学系基礎科学	1前	2					1				
	化学系実習	1後	1			2		2				
	物理系基礎科学	1前	2			1						
	物理化学 I	1後	2			1						
	分析化学 I	1後	2			1						
	生物系基礎科学	1前	2				1		1			
	生物系実習	1後	1				1	1	1			
	生化学 I	1後	2					1	1			
	解剖学	1後	2				1	1				
	物理化学 II	2前	2				1					
	分析化学 II	2前	2				1		1			
	分析化学実習	2前	1				1		1			
	有機化学 I	2前	2				1					
	生化学 II	2前	2					1	1			
	生化学実習	2前	1					1	1	1		
	生理学	2前	2				1	1				
	微生物学 I	2前	2				2					
	物理化学 III	2後	2				1					
	物理化学実習	2後	1				1		1	1		
	有機化学 II	2後	2				1					
	有機化学実習	2後	1				2		2			
	天然薬物学	2後	2					1				
	生化学 III	2後	2					1		1		
	生理解剖学実習	2後	1				1	1			兼1	
	微生物学 II	2後	2				2	1				
	免疫学 I	2後	2				2	1				
	分析化学 III	3前	1				1		1			
	分析化学 IV	3前	1				1					
	有機化学 III	3前	2				1					
	天然薬物学実習	3前	1					1		1		
	微生物学実習	3前	1				2	1	1	1		
	免疫学 II	3前	1				1	1				
	生化学 IV	3後	1					1	1		1	
アドバンスド生物化学	3・6前		1			1						
化粧品科学	4・6前		1								兼1	
腫瘍生物学	4・6後		1			1	1					
感染制御学	6前		1			1	1					
小計(37科目)	-		53	4	0	8	5	4	3	1	兼2	
放射化学	2後	2				1						
機能食品学	2・6後		1								兼1	
衛生化学 I	3前	2				1		1				
医療統計学	3前	1				1					兼1	
衛生化学 II	3後	2				1		1				
衛生化学実習	3後	1				1		1				
衛生化学 III	4前	2				1		1				
小計(7科目)	-		10	1	0	1	1	0	1	0	兼1	
薬理学 I	2後	2				1		1				
薬理学 II	3前	2				1	1	1				
薬物治療学 I	3前	2				1		1				
薬理学実習	3前	1				1		1				
薬物動態学 I	3前	2					1					
薬剤学 I	3前	2					2					
薬物治療学 II	3後	2				2						
薬物動態学 II	3後	2					2					
薬剤学 II	3後	2					2					
病理学概論	4前	2				2					兼7	
症候・診断学	4前	2				1					兼4	
処方解析演習	4前	1				9	5	3	4			
薬物治療学 III	4前	2				1		1				
医薬品開発学	4前	2				1						
医療安全管理	4前	1				1						
創薬化学	4・6前		1			1		1				
医薬品情報学	4後	2				1						
薬物治療学 IV	4後	2				3						
薬物治療学 V	4後	2				4		2	1			
漢方治療学	6前	2									兼1	
レギュラトリーサイエンス	6前	2				1						
薬物治療学 VI	6後	2				3						
小計(22科目)	-		39	1	0	11	6	5	4	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			8	3	3	2		
	調剤学	3後	2			1	1	1			
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4		
	看護論	3後	1								兼1
	総合リハビリテーション論	3後	1								兼1
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4		
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2			兼1
	臨床栄養学	4前		1		1					兼1
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4		
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1				
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1							兼1
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4		
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5		
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1				
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1				兼1
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0	兼6
薬学総合ブレ研究 卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用)	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅱ	6前	2			7	5	4	4	1	兼1	
総合演習Ⅲ 1年次～3年次(課題解決型薬学研究・発展)	6後	2			8	4	4	4			
小計(6科目)	-	22	0	1	17	9	8	8	1	兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1	兼104	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			7	3	3	2		兼1
	調剤学	3後	2			1	1	1			
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			9	5	3	2		兼2
	看護論	3後	1								兼1
	総合リハビリテーション論	3後	1								兼1
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4		
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2			兼1
	臨床栄養学	4前		1		1					兼1
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4		
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1				
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1							兼1
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4		
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5		
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1				
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1				兼1
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0	兼6
薬学総合ブレ研究 卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用)	3通～4前	2			17	9	7	6		兼1	
卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅱ	6前	2			7	5	4	4	1	兼1	
総合演習Ⅲ 1年次～3年次(課題解決型薬学研究・発展)	6後	2			8	4	4	4			
小計(6科目)	-	22	0	1	17	9	8	8	1	兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1	兼106	
卒業要件及び履修方法											
卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	総合英語ⅠA	1前	1			1					兼2
	総合英語ⅠB	1後	1			1					兼2
	総合英語ⅡA	2前	1			1					兼2
	総合英語ⅡB	2後	1			1					兼2
	総合英語Ⅲ	5前・後 ・6前	1			1					兼1
	英会話A	3前	1			1					兼1
	英会話B	3後	1			1					兼1
	英語Ⅰ(基礎英語)	1前		1							兼1
	英語Ⅱ(医療英語)	2前		1							兼1
	英語Ⅲ(コミュニケーション)	2後		1							兼1
	中国語	1前		1							兼1
	韓国語	1後		1							兼1
	コミュニケーション論	1前	1								兼1
	チーム医療論	6後	1			17	9	8	8	0	兼62
	文学	1・2・3前		1							兼1
	教育学	1・2・3後		1							兼1
	文化人類学	1・2・3前		1							兼1
	国際関係論	1・2・3前		1							兼1
	国際保健医療論	1・2・3後		1							兼1
	音楽論	1・2・3後		1							兼1
	栄養学	1前		2							兼1
	薬と毒性学入門	1後		1		1					兼1
	障害者スポーツ レクリエーションスポーツ 症候論	1前・後 1前・後 1後		1 1 2							兼1 兼1 兼4
	社会福祉論	2後		1		2					兼1
	情報リテラシー 研究法入門	1前 1後		1 2							兼1 兼1
	環境論	1前		1							兼1
	法学(含日本国憲法)	1前		2							兼1
	放射線概論	1後		1							兼1
保健行政論	2前		1							兼1	
公衆衛生学	2前		1		1		1			兼1	
倫理学	1前		1							兼1	
心理学	1前		2							兼1	
哲学	1後		1							兼1	
社会学	1後		2							兼1	
発達心理学	1後		1							兼1	
ボランティア学	1後		1							兼1	
生命倫理学	1後		1							兼1	
ジェンダー論	1後		1							兼1	
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0	兼85
基礎科目	科学計算演習	1前	1			1		1			
	科学英語	4前	1				1				兼1
小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0	兼1
専門科目	薬学入門Ⅰ(薬剤師の使命)	1前	1			1					
	薬学入門Ⅱ(薬と病気の科学)	1前	1			2	1				兼1
	早期臨床体験実習	1前	1			6	3	4	3		兼1
	生命・医療倫理学	1前	2								兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前	1								兼1
	薬剤経済学	4後	1			1					
	後期臨床体験実習	5通	1			7	2	5			
	日本薬局方	4後	1			1	2				
小計(9科目)	-		10	0	0	8	3	5	1		兼5

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	総合英語ⅠA	1前	1			1					兼2
	総合英語ⅠB	1後	1			1					兼2
	総合英語ⅡA	2前	1			1					兼2
	総合英語ⅡB	2後	1			1					兼2
	総合英語Ⅲ	5前・後 ・6前	1			1					兼1
	英会話A	3前	1			1					兼1
	英会話B	3後	1			1					兼1
	英語Ⅰ(基礎英語)	1前		1							兼1
	英語Ⅱ(医療英語)	2前		1							兼1
	英語Ⅲ(コミュニケーション)	2後		1							兼1
	中国語	1前		1							兼1
	韓国語	1後		1							兼1
	コミュニケーション論	1前	1								兼1
	チーム医療論	6後	1			17	9	8	8	0	兼62
	文学	1・2・3後		1							兼1
	教育学	1・2・3後		1							兼1
	文化人類学	1・2・3前		1							兼1
	国際関係論	1・2・3前		1							兼1
	国際保健医療論	1・2・3後		1							兼1
	音楽論	1・2・3後		1							兼1
	栄養学	1前		2							兼1
	薬と毒性学入門	1後		1		1					兼1
	障害者スポーツ レクリエーションスポーツ 症候論	1前・後 1前・後 1後		1 1 2							兼1 兼1 兼5
	社会福祉論	2後		1		2					兼1
	情報リテラシー 研究法入門	1前 1後		1 2							兼1 兼1
	環境論	1前		1							兼1
	法学(含日本国憲法)	1前		2							兼1
	放射線概論	1後		1							兼1
保健行政論	2前		1							兼1	
公衆衛生学	2前		1		1		1			兼1	
倫理学	1前		1							兼1	
心理学	1前		2							兼1	
哲学	1後		1							兼1	
社会学	1後		2							兼1	
発達心理学	1後		1							兼1	
ボランティア学	1後		1							兼1	
生命倫理学	1後		1							兼1	
ジェンダー論	1後		1							兼1	
小計(41科目)	-		15	32	0	17	10	8	8	0	兼85
基礎科目	科学計算演習	1前	1			1		1			
	科学英語	4前	1				1				兼1
小計(2科目)	-		2	0	0	1	1	1	0	0	兼1
専門科目	薬学入門Ⅰ(薬剤師の使命)	1前	1			1					
	薬学入門Ⅱ(薬と病気の科学)	1前	1			2	1				兼1
	早期臨床体験実習	1前	1			6	3	4	3		兼2
	生命・医療倫理学	1前	2								兼1
	臨床心理学	1後	1								兼1
	薬事関係法規・薬事制度	4前	1								兼1
	薬剤経済学	4後	1			1					
	後期臨床体験実習	5通	1			7	2	5			
	日本薬局方	4後	1			1	2				
小計(9科目)	-		10	0	0	8	3	5	1		兼5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			7	3	3	2		兼1
	調剤学	3後	2			1	1	1			
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4		
	看護論	3後	1								兼1
	総合リハビリテーション論	3後	1								兼1
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4		
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2			兼1
	臨床栄養学	4前		1		1					兼1
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4		
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1				
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1							兼1
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4		
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5		
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1				
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1				兼1
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0	兼6
薬学総合ブレ研究(卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用))	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅱ	6前	2			7	5	4	4	1	兼1	
総合演習Ⅲ	6後	2			8	4	4	4			
1インターンシップ実習(課題解決型薬学研究・発展)	4・5・6通			1	1						
小計(6科目)	-	22	0	1	17	9	8	8	1	兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1	兼106	

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。
(履修科目の登録の上限：46単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医療薬学チュートリアル演習Ⅰ	2前	1			8	3	3	2		
	調剤学	3後	2			1	1	1			
	実務実習事前学習Ⅰ	3後	1			7	5	4	4		
	看護論	3後	1								兼1
	総合リハビリテーション論	3後	1								兼1
	実務実習事前学習Ⅱ	4前	2			7	5	4	4		
	医療薬学チュートリアル演習Ⅱ	4前	1			1		2			兼1
	臨床栄養学	4前		1		1					兼1
	実務実習事前学習Ⅲ	4後	2			7	5	4	4		
	コミュニティーファーマシー	4後	1				1				
	ファーマシーマネジメント論	4・6前		1							兼1
	薬局実務実習	5通	10			6	5	4	4		
	病院実務実習	5通	10			8	4	4	5		
	地域包括医療論(在宅医療を含む)	6前	1				1				
	セルフメディケーション老年学	6前	1				1				兼1
	小計(16科目)	-	35	2	0	17	9	8	8	0	兼6
薬学総合ブレ研究(卒業研究Ⅰ(課題解決型薬学研究・基礎と応用))	3通～4前	2			17	9	8	8	1		
卒業研究Ⅱ(課題解決型薬学研究・発展)	4後～5通	12			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅰ	6前	4			17	9	8	8	1		
総合演習Ⅱ	6前	2			7	5	4	4	1	兼1	
総合演習Ⅲ	6後	2			8	4	4	4			
1インターンシップ実習(課題解決型薬学研究・発展)	4・5・6通			1	1						
小計(6科目)	-	22	0	1	17	9	8	8	1	兼1	
合計(140科目)	-	186	40	1	17	10	8	8	1	兼106	

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、総合教育科目では21単位以上(必修科目15単位及び選択科目6単位以上)、基礎科目は必修科目2単位、専門科目は172単位以上(必修科目169単位、選択科目3単位以上)を履修し、合計195単位以上を取得していること。
(履修科目の登録の上限：46単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・教育の充実のため、「早期臨床体験」の教員配置を「教授8、准教授2、講師4、助教1」から「教授7、准教授2、講師4、助教1、兼2」に変更。

【令和4年度】

・配当年次の誤記により、文学を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
・専任教員の就任年月の変更のため、「薬学入門Ⅱ」の教員配置を「教授3、准教授1」から「教授2、准教授1、兼1」に変更。
・教育の充実のため、「早期臨床体験」の教員配置を「教授7、准教授2、講師4、助教1」から「教授6、准教授3、講師4、助教3」に変更。
・教育の充実のため、「解剖学」の教員配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。

【令和5年度】

・教育の充実のため、「英語Ⅰ（基礎英語）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・教育の充実のため、「薬と毒性学入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼1」に変更。
・教員の負荷軽減のため、「保健行政論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育の充実のため、「早期臨床体験実習」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、講師4、助教3」から「教授10、准教授5、講師6、助教3、兼1」に変更。
・教員の自己都合等により、「物理化学実習」専任教員等の配置のうち「助手1」を「助手0」に変更。
・教員の就任時期の延期により、「医療統計学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
・教員の自己都合等により、「薬理学実習」の専任教員等の配置のうち「助教1」を「助教0」に変更。
・教育の充実のため、「実務実習事前学習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授5、講師4、助教4」を「教授9、准教授5、講師3、助教2、兼2」に変更。
・教員の自己都合等により、「薬学総合ブレ研究」の専任教員等の配置のうち「講師8、助教8、助手1」を「講師7、助教6、兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
103 科目	36 科目	1 科目	140 科目	103 科目 [0]	36 科目 [0]	1 科目 [0]	140 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 湘南医療大学保健医療学 部（必要面積6,600㎡）と 共用 自己所有面積26830.02㎡ 借用面積：28288.78㎡ 校舎敷地 6,629.41㎡ 運動場用地 1,252.57㎡ 借用期間： 校舎敷地 平成25年7月から22年9ヶ 月 令和3年4月から30年 運動場用地 平成27年4月から20年 (3) 横浜山手キャンパス設置 に伴う増加(4)			
	校 舎 敷 地	64,803.23 ㎡ 53,866.23 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	64,803.23 ㎡ 53,866.23 ㎡				
	運 動 場 用 地	1,252.57 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	1,252.57 ㎡				
	小 計	66,055.80 ㎡ 55,118.80 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	66,055.80 ㎡ 55,118.80 ㎡				
	そ の 他	400.00 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	400.00 ㎡				
	合 計	66,455.80 ㎡ 55,518.80 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	66,455.80 ㎡ 55,518.80 ㎡				
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 湘南医療大学保健医療学 部（必要面積6,753㎡）と 共用 ①借用面積：699.70㎡ ①借用期間：平成27年4月 から20年 ②借用面積：1,026.05㎡ ②借用期間：平成31年4月 から20年 大学院専用 51.31㎡ ③借用面積：11,134.27㎡ ③借用期間：令和3年4月 から30年間 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため 建築等設置計画変更書添 付 (添付資料①)(3) 横浜山手キャンパス設置 に伴う増加(4)			
		35,607.98 ㎡ 26,805.46 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	35,607.98 ㎡ 26,805.46 ㎡				
		(11,013.46 ㎡) (22,728.85 ㎡) (15,671.19 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(11,013.46 ㎡) (22,728.85 ㎡) (15,671.19 ㎡)				
(3)	教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 ※1室は保健医療学部棟講 義室3と共用 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため(3) A C対象学部として算出 (4)		
		11 室 32 室 21 室	7 室 26 室 11 室	7 室 27 室 15 室	※2 室 1 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)			
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		複数人利用の共同研究室 含む コロナの影響で校舎建設 が遅れたため(3)			
		薬学部 医療薬学科		33 室					
(5)	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	学部単位で特定不能な ため、大学共用分(学部と 研究科)の合計数 電子ジャーナル 37,825タイトル 3,085誌 閲覧可 コロナの影響で校舎建設 が遅れたため 既存学部で購入予定だ った図書・機械・器具が変 更になったため (3) 機械・器具以外は学部単 位で特定不能なため、大 学共用分(学部と研究 科)の合計数 機械・器具はA C対象学 部として算出(4) A C対象学部として算 出。ただし電子ジャー ナルは学部単位で特定不 能なため、大学共用分(学 部と研究科)の合計数 (5)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕						〔うち外国書〕
		冊	種	〔うち外国書〕					
		薬学部	3,181 [294] 19,462 [1,236] 19,043 [1,037] 20,854 [956]	15 [0] 323 [48] 323 [48] 338 [58]	22 [20] 12 [7] 13 [10]	623 582 616	9,726 21,360 21,429		300 58 102
	(3,181 [294]) (19,462 [1,236]) (19,043 [1,037]) (20,854 [956])	(15 [0]) (323 [48]) (323 [48]) (338 [58])	(22 [20]) (12 [7]) (13 [10])	(623) (582) (616)	(9,726) (17,699) (15,513)	(102) (58)			
	計	3,181 [294] 19,462 [1,236] 19,043 [1,037] 20,854 [956]	15 [0] 323 [48] 323 [48] 338 [58]	22 [20] 12 [7] 13 [10]	623 582 616	9,726 21,360 21,429	300 58 102		
	(3,181 [294]) (19,462 [1,236]) (19,043 [1,037]) (20,854 [956])	(15 [0]) (323 [48]) (323 [48]) (338 [58])	(22 [20]) (12 [7]) (13 [10])	(623) (582) (616)	(9,726) (17,699) (15,513)	(102) (58)			

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体(3)	
	420.08 m ² 803.48 m ² 486.91 m ²		184 席 274 席 176 席		10,028冊 27,140冊 18,900冊 8,240冊		A C対象学部として算出(4) 学年進行に伴う増加(5)	
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体(3)	
	637.07 m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 大学全体：図書購入費は、電子ジャーナル、データベースを含む コロナの影響で校舎建設が遅れたため(3) A C対象学部として算出(4)
	教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	14,140千円	11,524千円 11,670千円	10,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	1,031,842千円 661,733千円	605,074千円 975,060千円	10,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 2,280千円	第2年次 1,950千円	第3年次 1,950千円	第4年次 1,950千円	第5年次 1,950千円	第6年次 1,950千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄附金収入、補助金収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	湘南医療大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
保健医療学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	倍	倍	年度	年度	-						
看護学科	4	220	-	760	-	1.02	-	0.98	-	令和4	平成27	-						
リハビリテーション学科	4	140	-	440	学士(看護学)	1.01	-	0.99	-	令和4	平成27	1-2年次 神奈川県横浜市 中区山手町27						
理学療法学専攻	4	80	-	320	-	1.04	-	0.97	-	-	平成27	3-4年次 神奈川県横浜市 戸塚区上品濃16-48						
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.05	-	1.01	-	-	平成27	同上						
	4	40	-	160	学士(作業療法学)	1.00	-	0.92	-	-	平成27	同上						
薬学部	6	130	-	390	-	0.46	-	0.43	-	-	令和3	-						
医療薬学科	6	130	-	390	学士(薬学)	0.46	-	0.43	-	-	令和3	神奈川県横浜市 戸塚区上品濃16-10						
大学全体	-	350	-	1150	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認可時 (令和2年10月)</p>	<p>県内の薬剤師が不足する地域への人材の輩出という本学科の設置に係る社会的ニーズに対応するため、都市部だけでなく、そうした地域における地域医療への貢献を学生に促す取組を検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会および公益社団法人神奈川県病院薬剤師会と本学薬学部が、「社会が求める薬剤師の育成」に向け協力し、地域医療へ貢献する学術集會を開催するなど、学生にも参加を促し地域医療への参加意識を醸成する。(3)</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会小川護会長並びに公益社団法人神奈川県病院薬剤師会金光正会長に本学薬学部の開設趣旨や「社会が求める薬剤師の育成」に向け共に協力することが確認された。地域貢献においては両薬剤師会の認定薬剤師の講習会等を本学で開催する予定である。また、第52回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会(パシフィコ横浜)には、学生の参加や開催手伝い等を通して学生に学会参加体験を行うことを予定している。</p> <p>本学独自の市民公開講座に加え、両薬剤師会の市民公開講座の開催場所の提供や、教員が講師となり地域貢献を担う予定である。(4)</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会、公益社団法人神奈川県病院薬剤師会、一般社団法人横浜市薬剤師会に対し個々に理事・一般会員に内覧会を兼ねて本学薬学棟へ招き懇談した。今後さらに各職能団体と連絡を密にて、地域医療貢献するための認定薬剤師の講習会や、研修会開催の協力を行うことにした。</p> <p>令和4年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動神奈川大会において鈴木勉薬学部部長が本学薬学部学生と共にパネルディスカッションに参加した。その大会の様子が神奈川県HP、You Tube厚生労働省で公開されている。</p> <p>薬物乱用防止啓発の意識づけを学生たちに促した。(5)</p>	<p>履行中</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会および公益社団法人神奈川県病院薬剤師会と協議し、薬剤師過疎地域や地域医療の課題解決に向けた検討を開始する。(3)</p> <p>県薬剤師会会長並びに県病院薬剤師会会長と神奈川県内における薬剤師過疎地域の情報を共有し、また地域医療の課題を検討する委員会または、ワーキング・グループを作り、地域医療の課題を列挙し、検討するための委員会設置について両会長に申し入れを予定している。(4)</p> <p>公益社団法人神奈川県薬剤師会、公益社団法人神奈川県病院薬剤師会と連携して、薬剤師過疎地域や地域医療の課題等を調査・研究を進める。</p> <p>令和5年度で臨床系教員も全員着任したため、地域医療の課題を検討する委員会や、ワーキンググループを設置する検討会を発足する。(5)</p>
<p>認可時 (令和2年10月)</p>	<p>入学後の教育がより充実したものとなるよう、入学予定者に項す「入学前教育」の内容を精査し、適切に実施すること。</p>	<p>「入学前教育」は、入学予定者に対し、基礎学力の補習・向上や、学習意欲の維持・向上、および入学後に必要となる専門知識の習得など、高大接続をスムーズに移行できるようにすることを目的としている。これを踏まえて「入学前教育」の内容を精査し、本年度は「入学前教育」として、「物理学入門」、「生物学入門」、「数学入門」、「化学入門」、「基礎英語」の5科目を入学予定者に課す。</p> <p>「物理学入門」は、薬学を学ぶ上で必要となる力学や電磁気学の基礎を学習する。また、分子の性質や挙動を正しく理解するために必要な量子論についても導入的な学習を行なうことで、物理学と薬学との結びつきを意識した学習内容となっている。「生物学入門」は、薬学基礎科目の生化学、生理学、解剖学、免疫学、微生物学の導入として重要であり、生物の謎を解明する研究や基礎科目の基盤となる。また、「数学入門」では、数学が医薬品の有効性、安全</p>	

		<p>性の評価にどのように役立つかを学習する内容を含んでおり、単に計算方法だけではなく数学の考え方を学ぶことが、今後、薬剤師、医療従事者に必要とされる知識を理解する上で役立つ。「化学入門」では、化学物質の構造や反応性について学ぶことにより、医薬品を分子レベルで理解するために必要な化学の基本的知識を整理し、取得する。薬学部で行われる有機化学、薬品化学等の修学への動機づけとする。「基礎英語」では、薬学研究や医療現場での活動に役立てられる英語力の習得を将来の目標に置きながら、その基礎となる英語力を養う。そのために正確な英語の活用不可欠である英文法の知識を確認すると同時に、初歩的な薬学関係の英語表現を学習する。</p> <p>「入学前教育」の具体的な実施方法として、学習支援システム(manaba)による講義映像の閲覧および小テスト課題への取り組み(全8回)を5科目について実施する。これに加えて、3月末に「入学前教育のフィードバックとまとめ」として、オンライン双方向会議システムを利用した入学前スクーリングを実施する。 (別添資料②)(3)</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和2年10月)</p>	<p>教員の補充を必要とされた12授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた5授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>職位(教授)不適合となった専任教員が担当する予定であった5科目は、5月の教員審査に准教授として申請し直した。 また、残りの7科目のうち、1科目「早期臨床体験実習」は、すでに兼任補充し、対応している。 (3)</p> <p>職位(教授)不適格(兼任補充可)となった1名の教員は、就任を辞退したが、担当予定の7授業科目は、全て共同または、オムニバス科目であるため、兼任補充せずに、既存の審査済の専任教員が担当する。 また、職位(教授)不適格で5科目専任補充となった1名の教員は、現職の都合で本学の赴任が2022年度から2024年度に変更になったため、2022年度開講の1科目および2023年度開講1科目は、兼任教員として補充し、担当する。(4)</p>	<p>履行中</p> <p>残り6科目中1科目は、2022年度、2科目は2025年度、2科目は2026年度の科目開講時までに兼任補充する予定である。(3)</p> <p>職位(教授)不適格(兼任補充可)となった1名の教員の後任に、2023年度1名の専任教員を補充予定で、2022年度中に教員審査を受審し、受審後は当該教員の予定授業科目を担当する。 また、職位(教授)不適格で5科目専任補充となった1名の教員が担当する残り3科目の開講年度は、2024年度1科目、2026年度2科目であるため、科目開講時までに補充する。 (4)</p>
<p>認可時 (令和2年10月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>設置の趣旨で提出している「湘南医療大学完成年度後教員配置計画」に基づき、高齢者13名は退職する。 本学の教員は有期雇用とし、初回は6年間、引き続き採用する場合は2年間として、教員組織の再編ができるような仕組みとしている。 (3)</p>	<p>履行済</p> <p>設置の趣旨で提出している「湘南医療大学完成年度後教員配置計画」に基づき、高齢者13名は退職する。 本学の教員は有期雇用とし、初回は6年間、引き続き採用する場合は2年間として、教員組織の再編ができるような仕組みとしている。 (4)</p>

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年) (令和4年)</p>	<p>・教定育員内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p> <p>・教定育員内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>昨年度に引き続き、学生募集活動に努めており、令和4年度入学生は、66名で入学定員の0.5倍であった。入学定員充足率100%を大きく下回ったものの、昨年度入学者34名よりも前年比194%である。増減率は+94%となった。前年度提出した改善計画に基づき学生募集活動に取り組んだ結果、志願者数は、昨年度111人に対して、81人増加して192人になったものの、未だ本学部の特色や教育活動は周知不足で、薬学部受験意識について本学部と高等学校の間で乖離がある。更に、本学部の教育内容の充実を図り、全学上げて学生募集活動に真摯に取り組む定員充足に努める所存である。(4)</p>	<p>①ホームページの強化 本学の特色でもある、「臨床に強い薬剤師の養成教育」が、より浸透され、理解される教育内容の周知をホームページ上でわかりやすく伝えることができるように努める。また、高大接続教育(入学前教育)や、チューター制による少人数単位の学生支援なども本学の強みとしてPRする。また、教員研究活動、オープンラボでの研究効果など、研究者情報もホームページ上で随時更新して本学の魅力の伝え方を工夫する。</p> <p>②高校及び予備校訪問地域の拡大 神奈川県、東京都、静岡県内を中心にした高校や予備校の訪問活動を行っていたが、範囲を東海地方、北信越地方、北海道・東北地方など、東日本まで拡大して年間500校程度を訪問し、入学定員の約半数の確保を目標に募集活動を充実させる。</p> <p>③電子媒体での広報力強化 コロナ禍のため、WEB相談会、SNSでの発信など、時代のニーズに対応し、対面式以外の多様化した広報活動をより強化して展開する。</p> <p>④受験科目の変更と受験機会の増加 一般入試の受験科目を3科目選択から2科目選択に変更、また、英語試験の外部試験結果を導入する。但し、学力低下につながらないように、アクティブラーニングで本学部の求める学力を公表し、高校で必要最低限の学習を身につけた入学生を確保する。一方、入学前教育及び補完教育を実施し、薬学基礎及び実践教育にスムーズに対応できるように学生支援教育を徹底する。また、一般入試の受験日を複数日設定し、受験しやすい環境を整え、受験者数の増加による定員充足の改善を目指す。(4)</p> <p>①入試区分の定員の見直しと特待生制度の設置</p> <p>1) 本学を第一志望とする入学生の割合を増加させるために総合型選抜入試の占有率を上昇させる。昨年度定員5名だった総合型を20名(選抜区分15.3%)に増員し入学者を確保する。なお、文科省「大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究調査報告書」(令和4年度)によると、私立大学の選抜区分で総合型選抜入試は、約17%であったため、本学も同様の水準にあげた。</p> <p>2) 特待生制度を設け、総合型選抜及び学校推薦型選抜の学科試験上位者(22名・入学定員の約17%)に対して6年間の授業料全額免除または半額免除する。成績優秀な受験生に対して本学への早期出願から入学へと導き、安心して就学し、継続して修学できるように経済的支援を行う。</p> <p>②県内外からの志願者獲得</p> <p>1) 入学定員130名を確保するために、歩留まり状況や辞退率から逆算して資料請求、イベント参加者数の目標数値を設定する。資料請求数2,400件(前年度1,977件)、前年度121%増を目標、また、オープンキャンパス参加者数は600人(前年度312名)、前年度192%増を目標とし、出願者数460人(前年度243人)、前年度189%増を目標として、合格者数370人以上の中から入学者数=定員130人(歩留まり率35%以上目標)の確保を目標とする。</p> <p>2) 上記の目標達成のために、神奈川県内の高校から90名(入学者数の70%)、神奈川県以外の地域の高校から40名(入学者数の30%)の確保を目標とする(前年度神奈川県内の高校からの入学者(68名・入学率約80%)。昨年は、コロナ禍で神奈川県外の高等学校及び予備校への訪問(500校)はできず電話等に対応したため、受験者増に大きく結び付くような成果を上げることはできなかった。今年度は、高校訪問のエリアを東日本全域で、特に私立大学薬学部が設置されていない地域(静岡県、山梨県、長野県)300校を重点的に高接続型17種協同IP-PRを行</p>
		<p>令和5年度薬学部入学生は、78名(入学定員充足率60%)であった。昨年度入学生66名よりは12名増となったものの入学定員充足率100%を大きく下回る結果となった。学生募集活動を強化したものの、本薬学部の特色、教育活動及び目指す姿を示すディプロマポリシー等と、高等学校や受験生などのステークホルダーが求める成果(薬剤師国家試験指導実績、就職実績等)に、新設校が抱える課題があると推察している。本薬学部の知名度と並び認知度の向上のための広報戦略を再構築して、薬学部受験生のイメージギャップを埋めるべく、根幹である本学のアドミッションポリシーに適うターゲットを絞り込み、薬学部志願者が、本学部のカリキュラムポリシーなど教育内容への関心が高められるように広報・募集活動を通じて、その内容を一貫して発信する必要があると認識している。(5)</p>	

指摘事項
(改善)

履行中

同校と並行して直接訪問して積極的にPRを行い、県外からの受験者数を2.6倍（前年度73名/243名を180名/600名）にする。

3) また、薬学部の特徴や魅力をわかりやすく伝えるよう大学ガイドブックを毎年度作成し、配布を行っている。令和4年度は10,000部発行し、各種イベントなどで配布した。大学ガイドブックは大学の全体像を理解してもらうことを目的に、学部学科の情報は概要のみに留めていた。今年度は、教育内容ははじめとした学部・学科の詳細について理解を深められるように、薬学部の別冊のガイドブックを作成する。なお、令和5年度の大学ガイドブックは、前年度より多くの受験生に20,000部配布する予定である。

③薬学部教育の特色のPR

本学薬学部の特徴である「臨床に強い薬剤師の養成教育」を前面に打ち出し、その教育を実現するための「教育の質保証、並びに学生の質保証（学生サポート体制）」も公開し、本学の魅力をステークホルダーに伝える。

1) 個別チューター制度を置くことにより学生個々への学修・生活指導を行う。

2) 薬学共用試験（OSCE・CBT）試験および国家試験対策として、カリキュラム外活動（模擬試験、各種補講、過去問の取組み）を強化した学修支援策を行う。

3) 臨床薬学教育を実践するために、教員全体の53%を占める臨床系教員（21名：うち実務家教員14名）、および基礎系教員（20名）を配置して学修指導を行っている。

4) 薬剤師が患者を援助できるようになるための「実践的な教育」をPRする。

ア) 医療・医学の「知識」が学べる（症候・診断学など）。

イ) 患者や家族とのコミュニケーション（医療面接）を通して、「情報収集能力」を養える（コミュニケーション論 病院実務実習など）。

ウ) 薬学の専門的知識と突き合わせて、患者本位の薬物治療を医師と共にどのように進めていくかという「総合的な判断力」を養える（薬理学、薬物治療学など）。

エ) 教員がグループ連携実習施設17病院に出向き、病院実務実習を実施する。

5) 臨床に強い薬剤師の就職先を周知する。

薬局以外に、病棟薬剤師や治験（新薬開発実験）をコーディネートできる薬剤師の存在を広める。

6) 「異なる研究分野との連携」を強化・推進できる「オープンラボ（共同研究室）」6室設置して研究環境を整えていることをPRする。

④WEBサイトでの広報力強化

上記の具体的な活動内容を本学ホームページに盛り込みと同時に、令和5年度は、受験生に本学の教育内容を理解できるように「動画」などを用いてわかりやすく伝える。今後も随時情報を更新するとともに、資料請求に応じられるよう工夫を凝らす。また、オープンキャンパスや入試情報を広く告知するため、SNSや進学情報サイトを通じて本学部の特設サイトへの誘導も促進する。また、WEB相談会、SNSや動画での発信など、時代のニーズに対応したオンライン等による広報活動も強化して展開する。昨年以上にタイムリーな情報提供をネット経由で行うよう増強していく。

⑤オープンキャンパス・進学相談会

オープンキャンパスでは、学部・学科の紹介、キャンパス案内、施設見学、模擬授業、入試に関する説明会、在籍学生との座談会など、時期に応じて適宜プログラムを組み、受験生等に対して本学における教育環境を紹介している。また、オープンキャンパスでは、受験生や保護者の受験・進学における疑問や不安に対応できるように、個別相談会場を設けている。令和4年度は計34回で203人

（オープンキャンパス参加者312人）の申込みであった。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の状況で人数を制限して対面で開催した。令和5年度は、薬学部については、特設会場や個人相談会場を設け、周知を図り、390程度の参加を見込んだ準備を進める

て進める。
⑥学外における説明会・相談会の実施参加
全国の受験生に本学をより深く理解してもらうことを目的に、学外の進学説明会・相談会に令和4年度は132回（高校101校並びに31会場）参加している。説明会・相談会では、本学専用のブースを設け、受験生・保護者等に個別に対して本学の特色や入試等について説明を行う。令和5年度は主に6月から10月にかけて、北海道・東北地区、関東・首都圏地区、北陸・甲信越地区の各主要都市で開催された、35日程の進学説明会・相談会に参加する。また、令和5年7月と9月に桐蔭学園高校の生徒が本学薬学部の研究室体験（研究シャドウイング）を予定しており、大学全体及び薬学部への理解を深めてもらい、その後の受験につなげられる活動を行う。

⑦高校教員向け入学説明会の実施

本学では、高校進路指導教員向けに説明会を毎年度6月に開催している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響拡大を考慮し、小規模での説明会の開催であったが、2015年度から入学説明会に参加実績並びに指定校推薦対象高校493校への資料送付を送り、56校から参加があった。令和5年度も継続かつ回数を2回に増やして実施する予定である。この説明会では、主に学部の教育内容や入試制度の紹介を行っており、新年度の学生募集におけるキックオフという位置付けとしている。また、参加校からは多くの受験生が見込まれることから、令和5年度開催時は薬学部の特待生制度への理解も深めてもらい、本学部が養成する人材像や教育内容について紹介するとともに、薬学部専用のリーフレット等の配布を予定している。

⑧高校への訪問活動

薬学部では、前述のイベントや説明会の実施・参加に加え、学部の教育内容の更なる認知向上を目的に、高校訪問活動を実施している。高校の進路指導部へ赴き、学部の紹介に加え、募集に関する案内を行うとともに、当該高校の生徒に興味を持ってもらえるよう簡易リーフレット、ガイドブックの配架依頼を行っている。訪問活動は、入試・学生募集担当2名及び薬学部の専任教員全員を配置し、本学の進学実績のある高校を中心に年複数回行っている。令和4年度は193校へ訪問し、そのうち80校出願に繋がり、52名の入学者となっている。令和5年度については、382校へ訪問（神奈川140、東京136、千葉39、静岡50、山梨17）、158名の出願を目標とする。また、長野県は27校を対象にし、学生募集担当が高校訪問を実施していく。高校訪問活動は学生募集に大きな効果を示していることから、本学部も積極的に宣伝していく予定である。

⑨出張講義

本学部では「臨床に強い薬剤師を養成する医療大学」として、生命科学や自然科学及び臨床薬学の魅力を伝えることを目的に、高校生を対象とした出張講義を実施している。講義テーマは高校の要望に詳細に対応できるように薬学部で定め、令和5年は75テーマ程度の講義が提供可能である。出張講義は高校生や高校教員に対して、薬学部の教員が専門分野における講義を直接行うことは本学での学びを体感してもらう機会と捉えていることから、「薬学」という学問の浸透を目的に積極的に実施する計画である。（5）

--	--	--	--	--

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学部 医療薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
湘南医療大学ファカルティ・ディベロップメント委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年2回実施（4月、9月） 参加教員：教授2名、准教授1名、講師1名
- c 委員会の審議事項等
特になし
- ② 実施状況
- a 実施内容
- ①大学全体におけるFD・SD研修会
- ②薬学部独自のFD研修会
- b 実施方法
- ①大学全体におけるFD・SD研修会
- ・ 大学品質サービスの向上のため全教職員の理解と実行
 - ・ 湘南医療大学の教育・研究目標について（科研費ほか）
-本学の教育研究活動を説明する-
 - ・ 事業計画重点項目に対する取り組み
 - (1) 効果的なチューター活動
 - (2) キャリア支援
 - (3) 休退学者減少への取り組み
 - (4) 入学定員の確保（学生募集活動計画）
- ②薬学部独自のFD研修会
- ・ 病院薬剤師の現場教育と大学との連携を推進する
 - ・ 「第2期第三者評価の本質を理解する」
～第2期第三者評価を通して薬学教育、更には、大学教育が求められているもの～
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ①大学全体におけるFD・SD研修会
- ・ 【令和4年度】4月16日（土）、6月19日（日）、9月15日（木）、10月19日（水）、11月30日（水）、2月8日（水） の計6回
参加状況：教員82名、職員18名
- ②薬学部独自のFD研修会
- ・ 【令和4年度】10月26日（水）、3月15日（水） の計2回
参加状況：教員28名、職員3名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員は日々授業改善や研究活動に関する資料や情報を収集し、研鑽を積み工夫を重ねている。大学全体によるFD・SD研修会や薬学部独自のFD研修を通じて、本学の教育目的にある多職種協働によるチーム医療へ積極的に参画できる薬剤師の養成、本学薬学部の特徴である、(領域間の)隔たりを無くし横断的な連携を取り合うことにより、各教員が学生の指導ポイントについて理解、確認することができたと思われる。今後も引き続き授業改善を進め、教員および教育の資質の維持向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期ともに各科目の終講時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学ホームページ上に公開

授業評価アンケートの結果を教員にフィードバックし、その結果をリフレクションペーパーとして振り返り次期につなげる工夫を行う。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開

c 委員会の審

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内

記入例)

- ・ 地域との
- ・ 産業界と

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

使命・目的及び教育目的は、「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の理念に基づいた個性・特色を反映し、学則に「高度な知識と技術とともに、豊かな人間性を育み、創造的かつ実践的な教育研究を通じて、地域社会に貢献する」と、明文化している。使命・目的は、学生便覧やホームページ等を通して学内外に周知している。第一期中長期計画に沿って、令和3年4月に薬学部を設置し、令和3年度は34名、令和4年度は69名（うち3名は2年次編入）、令和5年度は79名（うち1名は2年次編入）の入学生を受け入れている。使命・目的の文言は、ディプロマ・ポリシーに反映され、順次カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに反映され、その使命・目的を果たしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年10月31日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年11月に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を実施し、適合の判定を受けた。
- ・令和10年に評価機関（薬学教育評価機構）を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。